

令和8年度 日南町立認定こども園・小学校・中学校 経営方針(案)

1 こども園・学校 経営の基本理念

- (1) 「子どもの権利条約」の4つの原則「命を守られ成長できること」、「子どもにとって最もよいこと」、「意見を表明し参加できること」、「差別のないこと」を尊重し、すべての子どもの人権を第1に考えた保育・教育を積み重ねていきます。
- (2) 「日南町園・学校運営協議会」の設置により、各園・学校に保護者や地域住民が参画することを通して、「地域とともにある学校づくり」を行い、日南町ならではの創意工夫された特色ある園・学校づくりを推進していきます。
- (3) 「日南町の子どもの教育在り方検討会答申」の具現化に向け、「持続可能なふるさと日南」を創る1歳からのカリキュラムの在り方を検討し、1歳から18歳までの教育内容の充実に向けた「オール日南」の協働的な教育環境を整えていきます。
- (4) 「日南町こども園・小学校・中学校一貫教育(学び舎にちなん)」を实践し、組織的に「学び続ける力」「関わり合う力」「ふるさとを愛する心」の育成をめざし、各発達段階に応じて、意図的・計画的で科学的根拠のある教育実践を園・学校と家庭・地域が協働して展開していきます。

2 日南町の教育目標

「ふるさとを愛し、豊かな人間性と生き抜く力を育み、

持続可能な未来を創造する優れた人材を育成する」

3 園訓・校訓

『生き抜く力』

～ 見つめよ自己を 求めよ友を 惜しむな汗を ～

4 園・学校の教育目標

「ふるさとに学び、夢に向かい、生き生きと輝く子どもの育成」

5 めざす園・学校像

- (1) 夢や目標に向かって努力し、お互いの人権を尊重し、仲間と協働できる子ども
- (2) 子どもの成長を園・学校と連携をとりながら、一緒に見守り支えていける保護者
- (3) 地域全体で日南の子どもの成長に関わっていける地域住民
- (4) 教師としての誇りを持ち、自ら研鑽を積む教職員

認定こども園

6 めざす子ども像

- *学び続ける力…自分の考えを持ち、遊びきる子ども
- *かかわりあう力…自分を好きになり、友達(人)も大切にできる子ども
- *ふるさとを愛する心…地域に触れ、地域に親しみ自分を表現する子ども

7 めざす教職員像

- (1) 子どもが「あそびきる」ために必要な環境を整え、子どもの「あそび」の伴走者としての教職員
- (2) 「共存共栄」を掲げ、保護者や地域の方々と共に学び、感謝の心を持って歩み続ける教職員
- (3) まずは教職員自身が自分を認め、自己肯定感を育む心の鏡としての教職員

8 経営のテーマ(キャッチフレーズ・キーワード)

『しっばいは未来のたねまき』

～地域とかかわり、異年齢で育ち、大人も子どもも試行錯誤～

9 教育目標実現化のための重点事項及び具体的な方策

基本理念のもと、どこにいても「ふるさとにちなん」に感謝し、夢を持ち、主体的に考え、選び、自分の人生を豊かに創造し、多様性を認め、出会った人との対話を通して、ともに協力して困難も乗り越えられる力を育んでいきます。

非認知能力の育成

(重点事項1)【学び続ける力】

- 初めての事に挑戦し、失敗しても再度挑戦することで「やればできる」と思える(自分を信じる力)
 - ・講師派遣研修(せいが子ども園)の学びを実践の場で振り返り、日南町の見守る保育を確立していく。
 - ・STEAMS教育を通じ、子どもたちが自ら考えて答えや遊びを創り出し、試行錯誤を繰り返しながら挑戦し続ける力を育む。
 - ・絵本の読み聞かせやメディア利用、社会性の発達を柱とし、保護者とともに家庭教育の重点を見出し、支えていく。

(重点事項2)【かかわりあう力】

- 自分の気づいた事や気持ちを言葉で伝えることができる(自分の思いや考えを発信する力)
 - ・選択制、習熟度別、順序性、年齢別など、活動のねらいに合わせた集団を形成し、かかわりあう力を育む。
 - ・「共存共栄」の理念に基づき、友達への配慮を持ったかかわり方について、大人も子どもも意識してかかわる。
 - ・大人が問題を解決せず、子ども同士で助け合ったり、失敗から立ち直ったりするのを待つ姿勢を共通理解する。

(重点事項3)【ふるさとを愛する心】

- 地域の人とのかかわりの中で新たな自分や自分の良さに気づく(地域を知り自分を知る)
 - ・SC交流(スポーツクラブ)では年間を通して身体作りに取り組み、その成果を運動会で表現していく。
 - ・CS交流を充実させるとともに、生活場面でも地域の人と交流し認められることで、自己肯定感を高める。
 - ・0歳児から年間計画に沿って定期的に英語に触れ、多様な音や表現に親しむ中で、言葉の壁を感じることなく意思疎通を図る体験を積み重ね、豊かなコミュニケーション能力の基礎を育む。

10 学校経営の改革プラン

①めざす教職員像の変容

1. 「学びの整備者」から「あそびの伴奏者」へ

子どもの「あそびきる」姿を主軸に置き、教師はその隣で歩む「伴走者」へと変容し、教え導く立場から子どもの内発的な動機に寄り添うパートナーへと進化していきます。

2. 「対話と寄り添い」から「共存共栄と感謝」へ

「共存共栄」の理念もと、保護者や地域と「共に学ぶチーム」として、感謝をベースとした「協調的な関係性」を目指していきます。

3. 「スキルの引き出し」から「自己肯定感の鏡」へ

まずは教職員自身が自分を認め、教師の心の安定が子どもに投影される「心の鏡」となり、自分自身の「在り方」「内面の成熟」に向き合います。

②経営のテーマ(キャッチフレーズ・キーワード)

1. 主体性を一歩進め、失敗を恐れず挑戦する「レジリエンス(折れない心)」や、努力する自分を認める「成長マインドセット」を大切にしていきます。

2. 大人も共に迷い、改善する姿を見せることで、組織全体が「学びの共同体」へと変容していきます。

③教育目標実現化のための重点事項及び具体的な方策

令和8年度より取り組む「日南町で育む非認知能力」の行動指標を、【学び続ける力】【かかわりあう力】【ふるさとを愛する力】の重点目標に掲げ、非認知能力の育成に力を入れていきます。

日南小学校

6 めざす子ども像

- (1) 学び続ける力・・・わかる喜びを感じ、自ら学びに向かう子
- (2) かかわりあう力・・・自分も友だちも大切にし、進んでかかわる子
- (3) ふるさとを愛する心・・・ふるさと日南を知り、ふるさと日南から学ぶ子

7 めざす教職員像

- (1) 向上を目指して挑戦し、仲間と協働する教職員
- (2) 子どもの可能性や成長を信じ、寄り添いながら指導する教職員
- (3) 子どもや保護者、地域の願いを受け止める教職員

8 経営のテーマ

「 進歩 ～やってみよう！じぶんアップデート がっこうアップデート～」

9 教育目標実現化のための重点事項及び具体的な方策

基本目標や目指す学校像、目指す子ども像を達成・実現するために、園・小・中一貫教育を推進し、3つの力と心を育成します。

(重点事項1)【学び続ける力】

○学習への意欲と自信を高め、学びの基礎となる力と態度を育てます。

- ・ 子どもと教師で作る授業（日南町小中一貫教育授業デザイン・スタンダード）
- ・ 学習習慣の定着、学習自立（家庭との連携）
- ・ 文章を読み取る力、読書習慣の育成（多書多読、図書館活用）
- ・ アウトプットの質の向上（発表や表現の場の確保、表現力の育成）

(重点事項2)【かかわりあう力】

○温かい人間関係のもと、子どもたちが共によりよい学校・学級づくりを目指す自治的な集団を育てます。

- ・ 自己肯定感や所属感を高める仲間づくりと居場所づくり
- ・ 児童主体で取り組む特別活動（学校行事、児童会、学級会など）
- ・ 異学年交流、こども園や中学校との交流、他校との交流

(重点事項3)【ふるさとを愛する心】

○ふるさと日南の自然、文化、歴史、人にふれ、ふるさとへの愛着と誇りを育みます。

- ・ 課題意識、意欲を持って取り組む日南学（生活科、総合的な学習の時間など）
- ・ 地域に出かけ、地域の方に学ぶふるさとキャリア教育（コミュニケーション力、プレゼンテーション力、発信力の育成）

10 学校経営の改革プラン

- ① チーム担任制の導入（マンツーマンディフェンスからゾーンディフェンスへ）
 - ・多角的な視点での見守りと相談体制の強化
 - ・個々の教員の得意分野や個性を活かした指導の充実
 - ・教師の協働性の向上、負担の集中の軽減
 - ・児童の自治的態度の育成

- ② 学校としての基本軸の明確化
 - ・子どもにとっての最善の利益の追求
 - ・旧来の学力観、指導観からの転換
 - ・学習指導、生徒指導の共通実践と充実
 - ・いじめや問題行動の未然防止、積極的認知と早期かつ組織的対応

- ③ 業務改善の推進
 - ・生成 AI 等デジタル技術の活用による業務の効率化と質の向上
 - ・PDCA サイクルの効率化と効果の向上
 - ・「やりがい」や「達成感」を生み出すための成果の「見える化」
 - ・時間外勤務の低減

- ④ 学校の果たす役割の自覚
 - ・地域の教育力向上の核（家庭教育、社会教育との連携）
 - ・園小中一貫教育の中核（中継点）としての取り組み
 - ・開かれた学校、地域貢献

に ここにこ笑顔の輝く学校

チ ャレンジしてのびる子ども

なん でも話し合えるあたたかい仲間

日南中学校

6 めざす生徒像 (主体、共創)

- * 学び続ける力・・・自ら考え、判断し、努力を続け、可能性を伸ばす生徒
- * 関わり合う力・・・違いを理解し、他者を尊重し、共に新たな価値づくりや解決に向かう生徒
- * ふるさとを愛する心・・・自分を愛し、ふるさとや自分の将来に向け、主体的に取り組む生徒

7 めざす教職員像

- (1) 生徒・保護者、地域の思いや願いを受け止め、強い信頼関係が築ける教職員。
- (2) 生徒の主体性・自主性を育む指導・支援ができる教職員。
- (3) お互いの悩みや困り感を出し合い、弱みを補い強みを生かせる教職員。
- (4) 自分で計画的な業務マネジメントを行い、仕事内容や分量等をコントロールできる教職員。(自走)

8 経営のテーマ

『 チーム日南 ～みんなに居心地よい学校～ 』

- ・ 報告・連絡・相談を徹底し、必要に応じて、各種会議等を開催して対応等を協議・検討する。
- ・ 生徒（保護者）対応は、同じ方向性でチームとして対応する。
- ・ 各主任は責任を持って教職員に仕事を分担し、確認し、マネジメントを回す。
- ・ 困ったときの判断は、「生徒（たち）にとって・・・」を第一に。

9 教育目標実現化のための重点事項及び具体的な方策

- ・ 園小中一貫教育を推進し、日南町の将来・未来を担って生きる人材の育成を目指します。

(重点事項1)

【学び続ける力】

- 学びの楽しさを体感すると共に、基礎・基本の定着を図り、さらに自分の学力を伸ばそうとする。
- ・ 協同学習の理念を基に、授業づくりの10のポイントを取り入れた授業づくりを実践する。
「個人思考」「学び合い」の時間を確保し、1時間の授業で「わかった」「できた」と実感できる授業づくりを進める。
- ・ FTの時間を活用した取り組みを工夫し、基礎・基本の定着を図る。
- ・ タブレットの持ち帰りを徹底し、学習アプリやAIドリル等を活用した予習・復習を行い、基礎・基本の定着を図るとともに、家庭学習の習慣を身につけさせる。
- ・ タブレットを有効活用し、教科の特徴を生かした「学びの楽しさ」を体感させる。

- ・学習の理解や基礎・基本の定着ができない生徒に対しては、学習の定着度の実態把握を行い、医療機関等との連携や放課後の個別対応等で細かく指導・支援していく。

(重点事項2)

【関わり合う力の育成】

- 人権教育を基盤とした学級づくり、人間関係づくりに重点を置き、学校行事や地域の方との交流等により関わり合う力を伸ばし、その素晴らしさを実感できる。
- ・困ったり悩んだりしている仲間を自らサポートできたり、自分からヘルプのサインが出せる仲間づくりを行う。(誰もが安心して自己開示できる集団づくり)
- ・行事や活動を生徒主導のプロジェクト型にし、一人一役以上の役割と成功体験を保障する。(自己有用感、自己肯定感の向上)
- ・地域の方との協働を通じて「認められる実感」を醸成する。(自尊感情の向上)
- ・生徒との教育相談等の時間を確保し、生徒に寄り添える教職員チームになる。
→生徒も教員も安心感、やりがい、充実感がもて、自他を大切にする集団へ
- ・人権尊重の精神と行動が生かされる指導や支援を継続して行い、いじめ等の未然防止、早期発見、迅速対応を行う。

(重点事項3)

【ふるさとを愛する心】

- まちの未来に興味関心を持ち、夢の実現に向けての意欲や主体性を伸ばす。
- ・ふるさとキャリア教育(日南学)では、各学年の題材のねらいをしっかりと押さえ実践する。(行事等も含めたスクラップアンドビルド)
- ・地域の人との対話、フィールドワーク、調べ学習により、ふるさとの良さや課題に目を向け、地域課題の解決に向けた提言を外部へ発信する。
- ・主体的に自分の夢とまちの未来を考え、解決や目標(夢)に向けて取り組む力を育成する。
- ・地域の行事やボランティア活動等への積極的な参加を通して、「地域の一員である」「地域貢献」の意識を醸成する。
- ・各教科、領域において、ふるさとの素材(もの、ひと、こと)を活かした授業づくりを積極的に実践し、日常的な郷土愛を育む。

10 学校経営の改革プラン

① 進路保障に向けた学力向上の推進

- ・協同学習の理念に基づいた授業づくりと学習定着に向けた取組の充実

② 働き方改革の推進

- ・生成AI等デジタル技術の活用による業務の効率化と質の向上
- ・「働きやすさ」と「働きがい」の両立
- ・時間外勤務の低減

③ 学校の果たす役割

- ・持続可能な町づくりを支える人材育成
- ・開かれた学校、地域貢献